

USB ダンパーの模造品(2)

1. 始めに

前報(1)に引き続き、模造品を作成します。

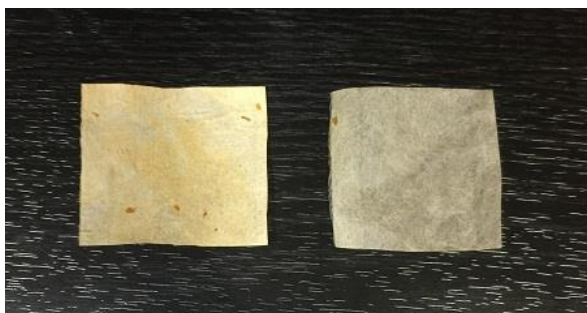
2. USB ダンパー模造品の制作手順

方針としては、似たような素材を調達し、加工してみます。USB ダンパーは透明の薄いフィルムと何かを含浸させた紙で構成されています。

そこでフィルムとしては、前報(1)同様、サロンパス EX の保護フィルムを活用します。

紙としては、書道用の和紙を調達します。和紙は、美濃紙と厚手の楮 100%のものを使用します。

含浸剤としては、前報(1)同様、シェラックを準備し、消毒用アルコールに溶解して紙に含浸させ、風乾させます。



和紙をサロンパス EX の保護フィルムに糊で貼り付け、適当な大きさに切ります。出来上りを模造品 2 号 A と B とします。

3. USB ダンパー模造品の試聴

今回の試聴システムは次のとおりで、SA11-S2 には GPS-777 からクロックを供給しています。

Maraz SA11-S2→ExPro SV-1→Rogers Cadet III→EMI DLS529

評価対象は、ヴォリュームアキュライザーの活用(18)と同様、SA11-S2 の電源差し込み口とします。今回は、比較対象としてレゾナンスチップも使用してみました。

順序としては、最初に何も処理しない条件で聴き、次いでレゾナンスチップを貼り、2 種類の和紙の模造品に替え、最後に USB ダンパーを適用した条件で聴いてみます。

使用する音源は、ヴォリュームアキュライザーの活用(18)と同様、下記とします。

Evidence EVCD015

ベートーヴェン Sonata for cello and piano No. 1

フランソワ＝フレデリック・ギィ (ピアノ)

グザヴィエ・フィリップ (チェロ)

ナクソス・ジャパン KCD-2078

モーツァルト ソナタ第 10 番ハ長調他

稲岡千架 (ピアノ)

DECCA UCCD9824

バッハ 無伴奏ソナタ・パルティータ

アルトゥール・グリュミオー (ヴァイオリン)



レゾナンスチップ



模造品 2 号和紙 (薄手)



模造品 2 号和紙 (厚手)



USB ダンパー

レゾナンスチップは、何もない状態とほとんど変わりありません。和紙(薄手)の方は、それほど大きな変化ではありませんが、音の芯が明瞭になってきます。和紙(厚手)ではさらに音の芯が明瞭になり、ダイナミズムが出てきます。USB ダンパーはさらにそれらを凌駕し、音楽の表情が把握しやすくなります。なお、差し込むときの抵抗は、和紙(薄手)→和紙(厚手)→USB ダンパーの順にきつくなります。

4. まとめ

USB ダンパーの実物には及びませんが、和紙を利用した USB ダンパーの模造品 2 号は確かに音が変わることが確認できました。なお、レゾナンスチップを電源コードに貼ることで音が変わらず、電源コードの差し込み口にダンブ材を差し込むことが

必要なことが分りました。

以上